

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0792830028	
法人名	有限会社横山製作所	
事業所名	グループホームあゆりの里	
所在地	福島県西白河郡矢吹町井戸尻496-1	
自己評価作成日	平成23年9月21日	評価結果市町村受理日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様、スタッフの心のメンタルケアに取り組んでいる。
火・木曜日は、針治療・マッサージ、暖炉によるオレンジ色の採用、栄養士による管理、室内温度の管理、東洋医学、「故郷キャラバン」と称して田舎に帰る。
映画鑑賞クラブ、リフレッシュ休暇(年に10日間)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、地域のつながり・ふれあいを大切にしており、故郷の方々の関係を継続できるような外出支援したり、多くのボランティアを受け入れて交流を深めている。管理者及び職員は、利用者の心身の健康を重視し、食育に力を入れ自家製食材の栽培等や一人ひとり丁寧に寄り添い薬に依存しない関わりに努めている。また、利用者全員に無料でマッサージ等のサービスを提供し、むくみ改善・自立歩行・生きる喜びへの支援につなげている。職員を多く配置し、利用者への手厚い介護に努めている傍ら、職員へはサービス向上の目的を兼ねて年10日のリフレッシュ休暇制度を設けている。

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人福祉ネットワーク
所在地	福島県いわき市錦町大島2番地
訪問調査日	平成23年10月13日

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが広がったり深まり、事業所 の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごさせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。〕

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、申し送りの時間に理念の唱和をし意志統一を図っている。	理念は、職員全員で毎朝唱和され、ミーティングや打合せの中で何度も再確認されている。「心身の安定」「一人一人を尊重したより良い環境づくり」「社会のつながり・ふれあいを大切に」「生きる喜びを実感していただく」など、職員が意志を統一して実践につなげている。		
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	年に数回のイベントを企画し近隣の住民や利用者様、利用者様家族との交流の場所を提供している。	除染活動に参加したり、囲碁大会・スポーツ大会など地域イベントに積極的に関わっている。囲碁・カラオケ・フラダンス教室等ボランティアの受け入れがされ、利用者と地域住民の交流の場を数多く提供している。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域団体の役員として講演や講習会などを開催し、情報を共有している。			
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に利用者様や関係者を招き、その時に出された課題や評価を報告しサービス向上に活かされている。	利用者家族や各関係者から出された意見及び要望は、職員全員で共有し話し合いが持たれ、サービスの向上につなげている。		
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者や話し合いの場には、積極的に参加し事業内容や経過などを話し、協力しあいサービス提供に取り組んでいる。	町の担当者と連絡を密にし、事業内容・手続き・近況について相談し、サービスの向上に向けた協力関係を築いている。		
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	転倒や徘徊により施設外に出てしまう恐れのある利用者の場合は、家族の承諾を得て一時的に柵や施錠を安全の為にしている事がある。	朝晩の申し送り時や打合せをする時など人手の薄い時に、やむを得ず施錠することがある。	利用者一人ひとりの特性や行動パターンを把握したり、打合せ場所を工夫するなどして、介護が手薄になる時間帯であっても施錠しない取り組みが望ましい。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は、管理者により学ぶ機会を設けて頂き、共の学び虐待防止に努め、高齢者に優しく安全で安心な環境を提供できるよう努力している。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	専門の講師を招き、学ぶ機会を持ち活用できるよう支援している。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時、家族、利用者に必要な説明を行い納得するまで説明をしている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族が来所された際に、管理者が家族や利用者との時間を取り、意見や要望を聞き入れ、ケアに反映させている。	利用者家族と話ができる時間をつくり、意見を取り入れ運営の見直しを図っている。玄関には、意見・苦情箱を設置し、管理者は、言いやすい雰囲気と姿勢を心がけている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1度の定例会議を設け、代表者により運営や方針、職員の意見や提案の場を設け活かされている。	管理者は、日頃から各職員と直接意見を聞く機会を設け、気づきや提案を出しやすくしている。月一回の定例会では、実現可能なことは全員で意見・アイデアを出しあって運営に反映させている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、法律に則った適正な運営方針の元、営業を行い、明るく元気で活気のある職場環境作りに、邁進している。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	地域団体役員の特権を活かし、研修会などの機会を企画し、職員の育成や他団体との交流の場を設け、勉強会に参加、スキルアップを設ける。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員は、研修会に積極的に参加し、同業者との交流をはかり、サービスを向上させている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人が不安に思っていること、困っていること、求めていることをよく聴き、本人との信頼関係を築くように努力している。すぐにその事に対応している。</p>			
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族等が、不安に思っていること、困っていることを聞き、それを理解し対応している。</p>			
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>他からの紹介状があればそれを参考にしている。さらに会話を深め何が必要か、ニーズは何かを考え、サービスの内容を考えている。</p>			
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は、本人と会話を多くするように努めており、そこから表情や感情を察知し支えある関係を築いている。</p>			
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人が、家族の事を心配することがあり、職員が連絡を取り安心させている。</p>			
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>故郷キャラバン(地域に出かける)と称して、ハイエースに乗り(8名)馴染みの場所に出かけている。</p>	<p>利用者の故郷や馴染みの地域へ少人数ごとに定期的に外出する機会を作っている。町内会や故郷の親しい方々との関係が継続できるよう体調を考慮しながら支援している。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>感情が上手に表現できず、利用者同士がトラブル事があるが、職員が仲裁に入りトラブル回避となるよう支援している。</p>			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス利用(契約)が終了しても、関わりや、継続を必要とする利用者家族には、関係を断ち切らない付き合いを大切にしている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者様の思いや、今後の希望、意向の把握に努めている。</p> <p>困難な場合は、本人本位にいろいろ調べたり考えたりしている。</p>	<p>利用者との1対1で話をする時間を作り、会話の中で利用者の思いを丁寧に汲み取っている。不眠や徘徊の場合であっても、利用者が安心して落ち着くまで寄り添い、思いの把握に努めている。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>一人一人の生活環境 これまでの受けてきたサービス等の把握に努めている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者様の一日の過ごし方、心身状態、潜在能力を総合的に把握に努めている。</p>		
26	(10)	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、意見を出し合い反映し、介護計画を作成している。</p>	<p>モニタリングを毎月行い、チームで現状把握している。課題に対しては、申し送りや担当者会議などその場で改善点を話し合っ、その人らしい生活ができるように介護計画とサービスの向上につなげている。</p>	<p>介護計画作成時において、家族との話し合いの場を広げ、以前の暮らしや遠方家族の要望などもさらに取り入れ、介護計画へ反映することが期待されています。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>麻の申し送り、カンファレンス初勤の時に情報を共有している。さらに、介護記録に気づきの記入をしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>研修や、講習を通して常に勉強し、サービスの提供を考えている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>区の老人会に出席したり、納涼祭など地域と関わりをもち、利用者が楽しめる生活を支援している。</p>		
30	(11)	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>施設と同地域の方については、従来通りの医療機関で受診をして頂き、地域県外の方は本人及び家族と話し、納得の上、施設かかりつけ医療機関にて適切に受けられるよう支援している。</p>	<p>利用者一人ひとり各科別に医療機関・かかりつけ医師が違うが、本人・家族と相談しながら定期受診ができる支援に努めている。今後も各利用者が必要に応じて、希望の医療機関で継続した医療が受けられるようにしている。</p>	
31		<p>看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職は、利用者との日常生活の中で関わりを持ち、気づき、又は異常がないか注意を払い、看護職へ情報を伝えて支援している。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>会田病院、あゆり歯科、鈴木歯科との医療機関と協働している。 末期ガンの利用者がいたが、最終的に病院に転移した。</p>		
33	(12)	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>院内での研修・グループホーム協会での講習に参加して常に急変に対応出来る訓練をしている。</p>	<p>事前に話しあって、本人・家族の意向や方針を確認している。終末期は、当ホームで迎えたいという希望もあり、各医療機関と連携し、施設でできる範囲のことを十分に説明しながら、取り組んでいる。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>専門機関の立会の元、災害時に利用者が避難できるよう全職員が年数回、訓練を受けている。</p>		
35	(13)	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>専門機関の立会いの元、災害時に利用者が避難できるよう全職員が、年に数回訓練を受けている。</p>	<p>消防署員の指導のもと年1回の防災訓練・講義により避難に対する意識づけがされ、その他にも職員全員で自主訓練をしている。避難方法については、利用者も理解し身につけている。缶詰・乾パン・カップ麺他の備蓄がされている。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お名前を呼ぶ時は、フルネームで呼ぶことを心掛けている。	入所前からの馴染みの呼ばれ方を確認したり、人生歴に配慮し尊重した関わりを心がけている。日中の過ごし方は、利用者の希望を尊重し、丁寧に言葉かけをしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意志を尊重して、支援している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ケアプランの元、利用者を優先し日々の生活が満足される用職員一人一人が心掛け、向き合っている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしいスタイルで、日常生活が送られるよう支援している。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が食べたいと言う物をみんなで、外へ食べに行けるように支援している。	事業所内の生育が見える畑で、利用者と職員が共に協力し有機栽培の野菜を育てている。パン・麺・御飯・嗜好品など本人希望の食事内容にし、飲食店等にも応える支援をしている。朝食時間は、個々に違っており、毎朝希望する時刻や場所をうかがい対応している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その人にあった量や、大きさや固さを考え、食べやすくできるよう支援している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者個人の能力に合わせ、介助などにより食事の後、就寝前に口腔ケアを行っておいる。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	起床時、就寝前、飲食前後、就寝以降2時間ごとに個人の能力に応じて排泄を促したり、誘導の支援を行っている。	利用者一人一人の排泄パターンや習慣を把握し誘導している。利用者の能力や健康状態を確認しながら、トイレ・尿器・オムツ使用の中で可能な限り自立できるよう支援している。自家製ヨーグルトの毎食摂取で、下剤を服用しない取り組みがあり、全員が自然排泄できている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	規則正しい食生活や食材を提供、又は食物繊維の多いサプリメントを使用し、個人の予防を行っている。			
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一定の時間の中、いつ入浴するか本人の希望する時間に入浴できるよう、支援している。	毎日入浴を希望する利用者とは入浴を好まない利用者に対し、タイミングや声かけを工夫して、希望通りに支援できるよう努めている。片麻痺の利用者も安心して楽しめる浴槽・介護者配置となっている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の睡眠リズムを把握して、そのリズムを大切に安眠できるよう傾聴し、安心できる環境を提供している。 利用者の身体状況に合わせ、散歩や廊下歩行を実施している。			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常時職員の目の届く棚に保管し、決められた担当者が飲み忘れの無いよう利用者別に一日分の薬を出している。 内服薬の使用法、副作用を知り異常の早期発見に努めている。			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	カーテンの開け閉め、洗濯物たたみ、調理の下ごしらえ(皮むき)など役割を持って頂いている。			
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外気浴は、四季を通して天候の良い日にウッドデッキにて実施している。 故郷キャラバンと名付け、白河や那須方面にユニットごとに出かけている。 本人の希望があれば、家族、職員が同行している。	家族からの要望の高い外出支援を積極的に実施している。外出計画を立て一人ひとりの状況に合わせて家族や友人も一緒に出掛けられるよう支援している。また、居室前にウッドデッキがあり、利用者が自由に外気浴できるようになっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>2～3人の金銭管理をしている。</p> <p>他は家族管理である。</p> <p>時々、買い物をしてお金を使うことを忘れないように支援している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者の要望があれば、自分で電話で話したり、手紙を書いたり出来るよう支援をしている。</p>		
52	(19)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>さくら館は、ピンク色で。みどり館はグリーンで色分けしている。</p> <p>落ち着いて生活できるようにしている。</p>	<p>明るく暖かな色合いの「さくら館」、落ち着いて和める色合いの「みどり館」があり、利用者が安心できる環境を選べるようになっている。共用空間は、手作り装飾品や民芸品で季節感がもてるよう工夫され、冬は暖炉の薪入れて、温かさで視覚から以前の生活感が得られている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ウッドデッキには、テーブルやベンチが設置されており利用させている。</p>		
54	(20)	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具、親しみのある物を搬入して頂き落ち着いて生活している。</p> <p>壁等には、家族の写真、誕生日の色紙などを飾られている。</p>	<p>居室は、使い慣れたタンス・嗜好品・仏壇ほか利用者の大切な思い出の品々が自由に配置できるようになっている。壁には、家族写真や色紙、好みの暖簾などが掛けられ、本人らしい雰囲気が保たれており、居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>洗濯物のたたみや、食事の下ごしらえ(皮むき等)、新聞紙折りなどをやっている。</p>		